

ポケットエコーVscanを用いた実技教育セミナー

●日時 2013年3月30日(土) 10:00~12:00

●会場 ひめぎんホール「多目的室」

座長

駿河台日本大学病院 超音波室長
小川 真広 先生

演者

日本大学板橋病院循環器内科 客員教授
東京大学医学部附属病院 検査部 客員研究員
竹中 克 先生

演者

鳥伝白川会 ドクターゴン診療所 理事長
泰川 恵吾 先生

Agenda

- 10:00 ◆ 座長ご挨拶
- 10:00 ◆ 「在宅領域におけるポケットエコーの活用」 泰川恵吾先生ご講演 (20分)
- 10:20 ◆ 「腹部領域におけるポケットエコーの活用」 小川真広先生ご講演 (20分)
- 10:40 ◆ 「循環器領域におけるポケットエコーの活用」 竹中克先生ご講演 (20分)
- 11:00 ◆ 講師による腹部領域エコー実技レクチャー (5分)
- 11:05 ◆ 参加者による腹部領域エコー実技セッション
- 11:25 ◆ 講師による循環器領域エコー実技レクチャー (5分)
- 11:30 ◆ 参加者による循環器領域エコー実技セッション
- 11:50 ◆ 締めのご挨拶

注意事項

- 本セミナーは、第15回日本在宅医学会大会参加登録をされた方のみご参加いただけます。
- エコーの実技セッションへのご参加は、事前登録制 (20名) となっております。2月28日までに本チラシ裏面の必要事項をご記入の上、FAXでお申し込み下さい。応募多数の場合、3月に抽選後、セッションにご参加いただける方にはこちらからご連絡します。
- 実技セッションの人数は制限がありますが、聴講は事前登録の必要はありません。当日、会場までお越しください。

* 事前登録制 (裏面をご確認ください)



共催：第15回日本在宅医学会
GEヘルスケア・ジャパン株式会社

販売名称 汎用超音波画像診断装置 Vscan
医療機器認証番号 221ABBZX00252000号
DOC1252139_Rev.1



ポケットエコーVscanを用いた実技教育セミナー

2013年3月30日(土) ひめぎんホール「多目的室」

参加申込書

※実技時間の参考にさせていただきますので、ぜひご意見をお願いいたします。

- 1 エコーのご使用経験を教えてください。
(腹部 ・ 心臓 ・ 産婦人科 ・ その他) 領域 () 年
- 2 エコーの実技を学びたい部位はどこでしょうか。
()
- 3 お使いのエコー装置について教えてください。
メーカー名：() 製品名：()
- 4 エコーを使用する場所はどこでしょうか。(複数回答可)
外来 ・ 在宅 ・ 病棟 ・ その他 ()
- 5 在宅患者数について教えてください。
0人 1人～10人 11人～30人 31人～50人 51人～100人 101人以上

恐れ入りますが、お申込みは**2013年2月28日(木)まで**にお願い申し上げます。

FAX

042-585-3077

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 超音波本部 Primarycare部宛

※お申し込みが定員を超えた場合は、抽選により実技参加者を決定します。抽選にもれた場合でも、聴講していただくことはできます。
※申込締め切り後、受講が正式に決まりましたら、e-mailアドレスにご連絡をいたしますので、必ず、e-mailアドレスをご記入ください。
※セミナー中、お食事のご用意はありません。ご了承ください。

■ ご施設名

■ ご専門

■ 住 所 〒

都 道
府 県

■ お名前(ふりがな)

■ 電話番号

■ FAX番号

■ e-mailアドレス(必須)



GE imagination at work

お送りいただいた個人情報は、本セミナーについてのご連絡、今後のセミナー開催などのご案内や通常の営業活動の範囲内での利用に用い、いただいた情報は第三者に提供いたしません。

第15回 日本在宅医学会大会 プログラム別 詳細情報

カテゴリー	セミナー
共 催	GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
タイトル	ポケットエコーVscan を用いた実技教育セミナー
日 時	平成 25 年 3 月 30 日 10:00～12:00
会 場	多目的室
演 者	医療法人 鳥伝白川会 理事長・泰川 恵吾先生、日本心エコー図学会理事 長・竹中 克先生
座 長	日本大学医学部内化学系消化器肝臓分野 診療准教授・小川 眞広先生
企画趣旨	<p>近年、在宅医療の社会的ニーズが高まるにつれ、その診療レベルの向上も求められるようになってきた。かつては通院や入院が必要だった様々な検査、処置を在宅で施行することで、より安定した在宅療養が可能になり、不要な入院を抑制することもできる。</p> <p>GE 社のポケットエコーVscan は、在宅医療の現場に携帯できる超小型の超音波検査装置である。携帯電話よりやや大きめの本体と小さなプローブは、上着のポケットに収納可能で、移動しながら常時携帯することができる。循環器、腹部、婦人科の3モードとカラードプラーを備えており、画像は十分に鮮明である。バッテリーで約1時間駆動し、動画、静止画とも micro SD に記録して PC などに取り込む事ができる。</p> <p>このセミナーでは、Vscan を用いた在宅診療の実際をはじめ、装置の特徴、特有の操作方法、腹部領域および循環器領域の簡便な検査法について、症例を提示して解説する。また、より理解を深めるため、実際のモデルで Vscan を使用したレクチャーおよび、受講者による実技を行う。</p>